

辺地総合整備計画（案）について

令和3年2月12日
市長公室
玉山総合事務所

玉山地域の5つの辺地（姫神、前田高木、玉山、上日戸、薮川）に係る総合整備計画を新たに策定するものである。

1 辺地総合整備計画の策定

(1) 策定の目的

玉山地域の辺地総合整備計画については、平成28年度から5か年の計画を策定し、地域間の生活文化水準の格差是正を目的に事業を推進してきた。令和3年度以降も、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号。以下「法」という。）第3条の規定に基づき、必要な事業を推進するため、姫神、前田高木、玉山、上日戸、薮川辺地の5辺地において、新たな総合整備計画を策定し、公共的施設の整備をしようとするものである。

(2) 計画期間

5か年（令和3年度～7年度）

(3) 総合整備計画書（案）

別紙1-1～別紙1-5のとおり。

(4) 事業一覧

事業一覧（令和3年度～7年度）は別紙2のとおり。

各事業の位置図は別紙3のとおり。

(5) 事業費・辺地対策事業債等の概要

17事業に対し、事業費7億2,644万円、辺地対策事業債4億7,330万円を予定するものである。

【玉山地域の辺地総合整備計画（令和3年度～7年度）】

辺地名	事業数	事業費 (千円)	辺地債 (千円)	国庫補助等 (千円)	一般財源 (千円)
姫神	1	34,155	11,300	22,770	85
前田高木	3	109,951	86,300	23,500	151
玉山	5	330,418	199,900	129,700	818
上日戸	2	40,580	22,500	15,569	2,511
薮川	6	211,336	153,300	57,000	1,036
計	17	726,440	473,300	248,539	4,601

2 現計画との対比（事業費、辺地対策事業債の予定額等）

現在の玉山地域の計画では、5辺地、12事業に対し、事業費12億5,762万1千円、辺地対策事業債8億230万円を予定していた。新計画と現計画の比較は下表のとおり。

辺地名	現計画（平成28年度～令和2年度）			新計画（令和3年度～7年度）		
	事業数	事業費 (千円)	辺地債 (千円)	事業数	事業費 (千円)	辺地債 (千円)
姫神	2	62,859	47,200	1	34,155	11,300
前田高木	1	30,000	13,400	3	109,951	86,300
玉山	2	295,500	133,800	5	330,418	199,900
上日戸	2	180,100	138,800	2	40,580	22,500
藪川	5	689,162	469,100	6	211,336	153,300
計	12	1,257,621	802,300	17	726,440	473,300

【参考】

現行の盛岡・都南地域の辺地総合整備計画（平成30年度～令和4年度）は下表のとおり。

辺地名	事業数	事業費 (千円)	辺地債 (千円)
新庄・浅岸	1	13,488	13,000
砂子沢・根田茂	2	59,388	58,900
乙部・大ヶ生	4	110,219	106,700
計	7	183,095	178,600

3 今後の予定

令和3年2月 市議会定例会へ議案を提出

3月 議会の議決後に、総務大臣へ計画書提出

(参考) 辺地総合整備計画について

1 辺地総合整備計画の目的

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号，以下「法」という。）の規定に基づき，辺地総合整備計画を策定し，財政上の特別措置を活かしながら，辺地において公共的施設を総合的，かつ，計画的に整備し，辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図ろうとするものである。

2 辺地の定義及び要件

(1) 定義（法第2条第1項）

交通条件及び自然的，経済的，文化的諸条件に恵まれず，他の地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地，離島その他のへんぴな地域で，住民の数その他について政令で定める要件に該当しているもの。

(2) 辺地の要件（法施行令第1条）

辺地の中心^(※1)を含む5km²以内の面積の人口が50人以上であり，かつ，総務省令で定める辺地度点数^(※2)が100点以上であること。

※1 辺地の中心 固定資産課税台帳に登録された宅地の3.3㎡当りの価格が最高の価格である地点

※2 辺地度点数 駅又は停留所，小・中学校，医療機関，郵便局，市役所等までの距離が遠隔であるなど，当該地域について算定されたへんぴな程度を示す点数

3 財政上の特別措置（法第5条，第6条）

辺地総合整備計画に基づいて実施する公共的施設の整備に要する経費について，辺地対策事業債（充当率は原則として100%）を充てることができる。

また，辺地対策事業債の元利償還金の80%に相当する額が，地方交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入される。

総合整備計画書(案)

岩手県 盛岡市 姫神辺地

(辺地の人口 92人 面積 14.0km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 玉山馬場字太子堂, 葛巻, 川久保, 田茂内
- (2) 辺地の中心の位置 盛岡市玉山馬場字田茂内 108番地4
- (3) 辺地度数 155点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、市の北東端に位置し、山あいには散在する農畜産業を基幹とする集落で構成されており、積雪による孤立化への対策として、除雪機械を整備する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
除雪機械	盛岡市		34,155	22,770	11,385	11,300
合	計		34,155	22,770	11,385	11,300

総合整備計画書(案)

岩手県 盛岡市 前田高木辺地

(辺地の人口 83人 面積 11.2km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 玉山馬場字前田, 高木, 赤坂
- (2) 辺地の中心の位置 盛岡市玉山馬場字赤坂23番地
- (3) 辺地度点数 127点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、姫神山の西部に位置し、山あいには散在する農畜産業を基幹とする集落で構成されており、次の事情により、公共的施設の整備を必要とする。

- (1) 当地域に通じる道路は幅員が狭く、路面が劣化し、安全な交通に支障を来していることから、市道の整備を行う必要がある。
- (2) 観光地である姫神山の登山口に設置しているトイレの老朽化が著しく、悪臭等の公衆衛生上の問題が生じていることから、建替整備を行う必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
市道	盛岡市		60,000	23,500	36,500	36,400
観光・レクリエーション施設	盛岡市		49,951	0	49,951	49,900
合 計			109,951	23,500	86,451	86,300

総合整備計画書(案)

岩手県 盛岡市 玉山辺地
 (辺地の人口 190人 面積 17.8km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 玉山字大二子, 中の又, 時館, 小田沢, 糠森, 山谷, 小森, 中里, 川久保, 祝の沢, 金谷沢, 姥前, 日影, 石名田, 大平
- (2) 辺地の中心の位置 盛岡市玉山字日影37番地4
- (3) 辺地地点数 153点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は姫神山の南西部に位置し、山あいには散在する農畜産業を基幹とする集落で構成されており、次の事情により、公共的施設の整備を必要とする。

- (1) 当地域に通じる道路は、一部未舗装区間があり、安全な交通や地域間の往来に支障を来していることから、市道の整備を行う必要がある。
- (2) コミュニティ活動の活性化等を図るため、老朽化の著しい集会施設の修繕を行う必要がある。
- (3) 地区に医療機関が存在せず、住民の医療受診の機会を確保するため、通院手段である患者輸送バスを更新する必要がある。
- (4) 地域における災害救急対策活動の中核機能を維持するため、老朽化が著しい現消防屯所の建替を行う必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
				特定財源	一般財源	
市道	盛岡市		265,100	129,700	135,400	135,400
公民館その他 集会施設	盛岡市		3,934	0	3,934	3,700
診療施設	盛岡市		9,926	0	9,926	9,500
消防施設	盛岡市		51,458	0	51,458	51,300
合 計			330,418	129,700	200,718	199,900

総合整備計画書(案)

岩手県 盛岡市 上日戸辺地

(辺地の人口 146人 面積 8.0km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 日戸字新田, 姥懐, 森子, 日影, 間洞, 古屋敷, 七手役, 中平, 岩井沢
- (2) 辺地の中心の位置 盛岡市日戸字中平55番地1
- (3) 辺地度点数 159点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は姫神山の南西部に位置し、山あいには散在する農畜産業を基幹とする集落で構成されており、当地域を横断する道路は幅員が狭く、安全な交通に支障を来していることから、橋りょう及び周辺道路を整備する必要がある。また、老朽化が著しいトンネル施設の安全点検及び整備を行う必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
市道	盛岡市	40,580	15,569	25,011	22,500
合	計	40,580	15,569	25,011	22,500

総合整備計画書(案)

岩手県 盛岡市 薮川辺地
 (辺地の人口 199人 面積 131.9km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 薮川字末崎川, 町村, 日向, 逆川, 橋場, 外山, 亀橋, 大の平
- (2) 辺地の中心の位置 盛岡市薮川字外山86番地1
- (3) 辺地度点数 180点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、山あいには散在する農林業を基幹産業とする集落で構成されており、次の事情により、公共的施設の整備を必要とする。

- (1) 急カーブが連続する狭隘な未整備道路であり、観光道路としての機能を有していないため、整備を行う必要がある。また、凍上等により破損が著しい側溝を改修する必要がある。
- (2) コミュニティ活動の活性化を図るため、集会施設の修繕を行う必要がある。
- (3) 地区に医療機関が存在せず、住民の医療受診の機会を確保するため、通院手段である患者輸送バスを更新する必要がある。
- (4) 火災発生時に迅速な消火活動が可能となるよう、老朽化が著しい消防車両を更新する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	区分 事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
市道	盛岡市	165,200	57,000	108,200	108,200
公民館その他 集会施設	盛岡市	24,166	0	24,166	24,000
診療施設	盛岡市	9,926	0	9,926	9,500
消防施設	盛岡市	12,044	0	12,044	11,600
合計		211,336	57,000	154,336	153,300

玉山地域辺地総合整備計画（案）（令和3年度～7年度）事業一覧

別紙2

辺地	事業名	計画年度	事業概要	R3～7 集計				事業が必要な理由
				計画額(千円)				
				事業費	辺地債	国費	一財	
姫神	道路除排雪事業(除雪車両の整備)	3	姫神地区、砂子沢地区方面を主な除雪路線とする除雪車両(15トン級)を更新するもの。	34,155	11,300	22,770	85	当該車両は取得から29年経過し、老朽化が著しく、今後も冬期間の生活道路の交通確保をするため、車両を更新する必要がある。
	(計 1事業)			34,155	11,300	22,770	85	
前田 高木	市道前田岩洞湖線舗装補修事業	3～4	市道前田岩洞湖線(全長12,918.2m)の舗装補修等を行うもの。 (L=330m)	20,000	10,000	10,000	0	当該路線は国道4号と姫神地区を結ぶ主要幹線道であり、姫神山登山口へと向かう観光路線でもあるが、幅員が狭隘で路面の劣化も著しく、安全な交通に支障を来しているため、舗装補修等が必要である。
	市道山屋馬場線舗装補修等事業	4～7	市道山屋馬場線(全長7,195.4m)の舗装補修及び側溝改修等を行うもの。 (L=500m)	40,000	26,400	13,500	100	当該路線は国道4号と姫神地区を結ぶ主要幹線道であり、姫神山登山口へと向かう観光路線でもあるが、幅員が狭隘で路面の劣化も著しく、安全な交通に支障を来しているため、舗装補修等が必要である。
	姫神山一本杉登山口トイレ整備事業	5～6	既存建物を解体し、水洗化を伴う建替を行うもの。	49,951	49,900	0	51	観光地である姫神山の登山口に設置している当該トイレは、整備から30年が経過しており、老朽化が著しく悪臭等の公衆衛生上の問題も発生していることから、建替整備を行う必要がある。
(計 3事業)			109,951	86,300	23,500	151		
玉山	★市道二子沢線道路整備事業	3～5	市道二子沢線(全長2,040m)の道路舗装、側溝整備等の道路改良を実施するもの。 (L=980m)	215,100	110,400	104,700	0	当該路線は門前寺・白沢地区と広域農道とを最短でつなぐ路線であるが、未舗装区間があり、安全な交通に支障を来しているため、道路改良が必要である。
	市道山谷川目線道路改良事業	3～7	市道山谷川目線(全長3,668.3m)の道路改良を行うもの。 (L=500m)	50,000	25,000	25,000	0	当該道路は幹線道路であり、大型車両の通行もあるが、舗装の劣化が著しく、安全な交通に支障を来しているため、道路改良が必要である。
	山谷川目地区コミュニティセンター長寿命化工事事業	3	山谷川目地区コミュニティセンターを長寿命化工事(屋根の補修等)するもの。	3,934	3,700	0	234	当該コミュニティ施設の長寿命化による存続により、地域活力の再生、コミュニティの活性化が見込まれるため、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、修繕を行う必要がある。
	患者輸送バス更新事業	3	患者輸送バス(マイクロバス)を更新するもの。	9,926	9,500	0	426	当該車両は走行距離が25万キロメートルを超え、劣化が著しく、今後も住民の医療受診の機会を確保するため、車両を更新する必要がある。
	消防施設整備事業(消防屯所の整備)	6～7	二子沢消防屯所の建替を行うもの。	51,458	51,300	0	158	当該施設は建設から38年が経過しており、老朽化が著しく、今後も地域の災害応急対策活動の中核機能を維持するため、消防屯所の建替を行う必要がある。
(計 5事業)			330,418	199,900	129,700	818		

辺地	事業名	計画年度	事業概要	R3~7 集計				事業が必要な理由
				計画額(千円)				
				事業費	辺地債	国費	一財	
上日戸	市道日戸柴沢線道路改良事業	3~4	市道日戸柴沢線(全長4,802.2m)の橋梁を改修して幅員を広げ、その前後の路肩も拡幅するもの。 (L=200m, W=4.0m→5.0m)	25,000	12,500	12,500	0	当該路線は県道洪民川又線から観光地であるサクラパーク姫神までを結ぶ市道であるが、橋梁及びその周辺道路の幅員が狭く、安全な交通に支障を来しているため、拡幅工事を行う必要がある。
	市道上米内芋田線「玉山トンネル」点検整備事業	3~7	市道上米内芋田線「玉山トンネル」の安全点検及び設備更新(照明のLED化、無散水消雪施設更新)を行うもの。	15,580	10,000	3,069	2,511	当該施設は完成後22年を経過しており、路面内の消雪施設等の劣化も著しく、今後も安全な通行を確保するため、点検と設備の更新を行う必要がある。
	(計 2事業)			40,580	22,500	15,569	2,511	
菟川	★市道一の渡岩洞湖線道路整備事業	3~6	市道一の渡岩洞湖線(東工区全長4,000m)を改良するもの。 (L=1,320m, W=4.5m→5.5m)	115,200	58,200	57,000	0	当該路線は岩洞湖周辺観光施設へ通ずる市道であるが、急カーブが連続する狭隘な未整備道路であり、観光施設の利用者等の安全で円滑な交通を確保するため、整備を行う必要がある。
	市道大の平線側溝改修事業	3~7	市道大の平線(全長1,204.1m)の側溝改修を行うもの。 (L=525m)	50,000	50,000	0	0	当該路線の側溝は経年劣化、凍上等により破損し、流水機能が著しく低下しており、隣接する民有地等への被害を防止するため、改修を行う必要がある。
	町村活性化センター長寿命化工事事業	4	町村活性化センターを長寿命化工事(屋根及び外壁の補修等)するもの。	11,293	11,200	0	93	当該コミュニティ施設の長寿命化による存続により、地域活力の再生、コミュニティの活性化が見込まれるため、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、修繕を行う必要がある。
	岩洞活性化センター長寿命化工事事業	5	岩洞活性化センターを長寿命化工事(防水工事等)するもの。	12,873	12,800	0	73	当該コミュニティ施設の長寿命化による存続により、地域活力の再生、コミュニティの活性化が見込まれるため、盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画に基づき、修繕を行う必要がある。
	患者輸送バス更新事業	3	患者輸送バス(マイクロバス)を更新するもの。	9,926	9,500	0	426	当該車両は走行距離が26万キロメートルを超え、劣化が著しく、今後も住民の医療受診の機会を確保するため、車両を更新する必要がある。
	消防施設整備事業(消防車両の整備)	5	岩洞消防屯所の消防車両を更新するもの。	12,044	11,600	0	444	当該車両は更新予定の令和5年度には取得から20年が経過し、老朽化が著しく、今後も地域の災害応急対策活動の中核機能を維持するため、車両を更新する必要がある。
(計 6事業)			211,336	153,300	57,000	1,036		
合計 17事業			726,440	473,300	248,539	4,601		

★…新市建設計画に登載している事業

令和3～7年度 各事業の位置図（玉山地域）

別紙3

